

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
1-1	境港	国土(港)	松江市	自然が刻む荒磯ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	公有地造成事業により整備を進める。施設整備にあたっては、利用面に配慮する。
防護面	現在、公有地造成事業により整備中である。公有地造成のための外郭施設は、高潮に対する留意が必要である。
環境面	特になし。
利用面	港湾利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	境港の内の美保閑地区。直背後に堺美保閑線と、民家が連なる。現況護岸は石積であり、現在、公有地造成事業により工事中である。
海岸状況	磯 人工
利用状況	
背後地	住宅地
幹線道路からの距離	隣接
アクセス道路	2車線以上
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	高潮
現保全施設	護岸
施設名	
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	
		藻場 (ガラムモ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
	景観計画区域	○	
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港	
		港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
1-2	軽尾港	国土(港)	松江市	自然が刻む荒磯ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	侵食、高潮対策を進める。施設整備にあたっては、環境面、利用面に配慮する。
防護面	浜崖侵食が進んでいる。侵食、高潮対策が必要である。
環境面	自然環境要素として藻場があり、社会環境要素として自然公園区域、自然景観資源に指定されている。
利用面	港湾利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	リアス式の入江の最奥部。幅の狭い天然の磯浜で、背後に民家が2軒ある要指定区域。背後の広場でキャンプ利用がある。
海岸状況	磯浜
利用状況	漁業
背後地	山林 住宅地
幹線道路からの距離	2km以上
アクセス道路	1車線
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	高潮 侵食
現保全施設	施設名
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	
		藻場 (カラモ場・海中林)	○
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	○
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
		景観計画区域	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	○
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港	
		港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			
自然景観資源：美保の北浦			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
1-3	七類港	国土(港)	松江市	自然が刻む荒磯ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	海岸環境整備事業により整備を進める。施設整備にあたっては、環境面、利用面に配慮する。
防護面	猿渡地区では、越波が激しいため、現在、海岸環境整備事業により整備中である。
環境面	自然環境要素として藻場があり、社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	港湾利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	区域西側の七類地区では、物流・漁業利用が盛ん。北側の猿渡地区では、背後は山林と民家が点在する。前面では、人工海浜を整備中である。
海岸状況	人工
利用状況	漁業 物流
背後地	住宅地 山林
幹線道路からの距離	隣接
アクセス道路	1車線
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	高潮 侵食
現保全施設	護岸
施設名	
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	
		藻場 (カサゴ場・海中林)	○
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	○
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
	海岸景観(その他)	景観計画区域	○
		自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港	
		港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
1-4	惣津	国土(河)	松江市	自然が刻む荒磯ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	高潮対策が必要である。施設整備にあたっては利用面、環境面に配慮する。
防護面	民家前では、越波、飛沫が激しいため、その対策が必要である。
環境面	社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	港湾利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	玉結湾の湾奥に位置する。西側背後は山林、東側は民家が密集する。民家前面には、ほぼ全域にわたり消波ブロックが設置されている。
海岸状況	人工 磯
利用状況	漁業
背後地	住宅地 山林
幹線道路からの距離	500m～2km
アクセス道路	1車線
地域からの要請	越波防止
現況防護施設	
防護目的	高潮
現保全施設	護岸
施設名	消波工
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	
		藻場 (ガサモ場・海中林)	○
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
		景観計画区域	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港	
		港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
1-5	片江漁港	水産	松江市	自然が刻む荒磯ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	侵食対策事業により整備を進める。施設整備にあたっては、利用面に配慮する。
防護面	要指定区域の民家前では、侵食対策が必要である。
環境面	社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	漁港利用者、海水浴場利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	海岸保全区域は、漁港内東側奥部に位置し、砂浜が残る。背後は民家が密集する。港外の西側に要指定区域があり、背後に民家がある。
海岸状況	砂浜 人工 礫浜
利用状況	生活 海水浴
背後地	住宅地 山林
幹線道路からの距離	2km以上
アクセス道路	1車線
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	侵食 高潮
現保全施設	離岸堤
施設名	
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	
		藻場 (ガサモ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	○
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
		景観計画区域	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港	○
		港湾	
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			
規模は小さいが海水浴利用もされている。			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
1-6	北浦	国土(河)	松江市	自然が刻む荒磯ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	侵食対策事業により整備を進める。施設整備にあたっては、環境面、利用面に配慮する。
防護面	侵食が進んでいること、越波が激しいことから、現在、侵食対策事業により整備中である。
環境面	自然環境要素として特定植物群落があり、社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	海水浴場利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	北側に面した砂浜海岸。東側背後は民家が密集し、西側の一部は農地がある。護岸は築造されていない。古くから島根半島を代表する海水浴場として利用されている。
海岸状況	砂浜
利用状況	海水浴
背後地	住宅地 農地
幹線道路からの距離	2km以上
アクセス道路	2車線以上
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	侵食
現保全施設	施設名
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	○
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	
		藻場 (ガレット場・海中林)	○
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	○
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
		景観計画区域	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用 (産業面)	漁港	
		港湾	
	海辺利用 (レクリエーション面)	海水浴場	○
			備考
特定植物群落：北浦モクゲンジ林			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
1-7	笠浦港	国土(港)	松江市	自然が刻む荒磯ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	高潮対策を進める。施設整備にあたっては、利用面に配慮する。
防護面	西側の自然海岸では、高潮対策が必要である。
環境面	社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	港湾利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	港内の山裾の海岸。東側は、海岸保全区域で護岸が整備されている。背後は民家と生活道路。西側は、自然海岸(岩石・土砂)の要指定区域で、背後は民家と生活道路である。
海岸状況	人工 磯 礫浜
利用状況	なし
背後地	住宅地 山林
幹線道路からの距離	2km以上
アクセス道路	1車線
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	侵食
現保全施設	護岸
施設名	
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	
		藻場 (カサゴ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	○
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
		景観計画区域	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港 港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
1-8	野波漁港	水産	松江市	自然が刻む荒磯ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	海岸環境整備事業により整備を進める。施設整備にあたっては、環境面、利用面に配慮する。
防護面	西側の消波工付護岸部では、越波、飛沫が激しいため、現在、海岸環境整備事業により整備中である。
環境面	社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	漁港利用者、海水浴場利用者に対する配慮が必要である。

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場（アマモ場・海中草原）	
		藻場（ガラモ場・海中林）	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	○
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
	海岸景観(その他)	景観計画区域	○
		自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用（産業面）	漁港	○
		港湾	
	海辺利用（レクリエーション面）	海水浴場	
備考			
規模は小さいが海水浴利用もされている。			

海岸及び背後の状況			
海岸保全区域の概況	港内の砂浜海岸。前面は離岸堤、背後は道路と比較的規模の大きい集落。東側の山裾に公共施設があり、前出した緩傾斜護岸、西側は消波工付護岸が整備されている。		
海岸状況	人工	砂浜	
利用状況	生活	海水浴	
背後地	住宅地	山林	
幹線道路からの距離	2km以上		
アクセス道路	2車線以上		
地域からの要請			
現況防護施設			
防護目的	高潮	侵食	
現保全施設	施設名	護岸	離岸堤 突堤・ヘッドラント
飛砂対策	なし		

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
1-9	加賀漁港	水産	松江市	自然が刻む荒磯ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	海岸環境整備事業により整備を進める。施設整備にあたっては、環境面、利用面に配慮する。
防護面	桂島では、侵食が進んでいるため、その対策が必要である。
環境面	自然環境要素として藻場があり、社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	漁港利用者、海水浴場利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	現況区域は港内最奥部で、漁業利用されている。背後は集落。要指定区域は、桂島の磯浜の海水浴場で、背後はキャンプ場である。
海岸状況	人工 磯浜
利用状況	漁業 海水浴
背後地	住宅地 観光地
幹線道路からの距離	2km以上
アクセス道路	2車線以上
地域からの要請	浜の侵食防止と砂浜整備
現況防護施設	
防護目的	侵食
現保全施設	護岸
施設名	
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	○
		藻場 (ガサモ場・海中林)	○
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	○
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
		景観計画区域	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港	○
		港湾	
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	○
備考			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
1-10	秋鹿北港	国土(港)	松江市	自然が刻む荒磯ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	公有地造成事業により整備を進める。施設整備にあたっては、利用面に配慮する。
防護面	現在、公有地造成事業により整備中である。公有地造成のための外郭施設は、高潮に対する留意が必要である。
環境面	自然環境要素として藻場がある。
利用面	港湾利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	外海に面した幅の狭い磯浜海岸。背後は急峻な山地で、斜面に民家が点在し、山腹には道路が沿う。前面では公有地造成事業により工事中である。
海岸状況	磯浜 磯
利用状況	なし
背後地	山林 住宅地
幹線道路からの距離	2km以上
アクセス道路	1車線
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	高潮 侵食
現保全施設	施設名
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	
		藻場 (ガマモ場・海中林)	○
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	
		自然環境保全地域	
	鳥獣保護区(特別保護区)		
	海岸景観(その他)	景観計画区域	○
		自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港	
		港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
1-11	平田(東地合第3地区)	農村振興	出雲市	自然が刻む荒磯ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	侵食対策事業により整備を進める。
防護面	侵食が進んでいること、護岸前面の洗掘が進んでいることから、現在、侵食対策事業により整備中である。
環境面	特になし。
利用面	特になし。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	外海に面した海岸。背後は急峻な山地の上に集落と農地がある。護岸は老朽化しているほか、侵食傾向にあり、現在、侵食対策事業により改良工事を実施している。
海岸状況	礫浜
利用状況	
背後地	山林 農地 住宅地
幹線道路からの距離	500m～2km
アクセス道路	1車線
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	侵食
現保全施設	護岸
施設名	
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	
		藻場 (カサモ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
		景観計画区域	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港 港湾	
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
1-12	十六島漁港	水産	出雲市	自然が刻む荒磯ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	高潮対策事業により整備を進める。施設整備にあたっては、利用面に配慮する。
防護面	越波、飛沫が激しいため、現在、高潮対策事業により整備中である。
環境面	特になし。
利用面	漁港利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	十六島湾東側の直線部分で、急峻な山裾の海岸。背後は道路と、北側と南側に民家が連なる。前面は消波工付護岸が整備されている。海苔、アワビ採取が盛ん。
海岸状況	人工
利用状況	漁業
背後地	山林 住宅地
幹線道路からの距離	2km以上
アクセス道路	2車線以上
地域からの要請	越波防止
現況防護施設	
防護目的	高潮
現保全施設	施設名
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	
		藻場 (カラモ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
	景観計画区域	○	
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用 (産業面)	漁港	○
		港湾	
	海辺利用 (レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
1-13	河下港	国土(港)	出雲市	自然が刻む荒磯ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	侵食対策を進める。施設整備にあたっては、利用面に配慮する。
防護面	垂水・西田地区共に侵食が進んでいるため、その対策が必要である。
環境面	特になし。
利用面	港湾利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	西田地区は護岸前面に離岸堤が整備され一部砂浜が残る。背後は道路沿いの民家。垂水地区は岩礁海岸で、背後は建物が数件。さらに西側ではスポット的に階段護岸がある。
海岸状況	砂浜 人工 礫浜
利用状況	海水浴
背後地	住宅地 山林
幹線道路からの距離	2km以上
アクセス道路	2車線以上
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	高潮 侵食
現保全施設	護岸 護岸 離岸堤
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	
		藻場 (ガサモ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
		景観計画区域	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港	
		港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
1-14	笠浦漁港	水産	松江市	自然が刻む荒磯ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	高潮対策事業により整備を進める。施設整備にあたっては、環境面、利用面に配慮する。
防護面	老朽化により機能の低下しているおそれのある海岸保全施設が存在しているため、必要に応じその対策を行う。
環境面	自然環境要素として藻場があり、社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	漁港利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	漁港の東側に隣接する砂浜海岸。背後は民家数件と、農地がある。前面は護岸が整備されている。
海岸状況	砂浜 人工
利用状況	
背後地	住宅地 農地 山林
幹線道路からの距離	2km以上
アクセス道路	1車線
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	高潮
現保全施設	施設名 護岸
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場（アマモ場・海中草原）	○
		藻場（カサモ場・海中林）	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	○
		自然環境保全地域	
	海岸景観(その他)	鳥獣保護区(特別保護区)	
		景観計画区域	○
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用（産業面）	漁港	○
		港湾	
	海辺利用（レクリエーション面）	海水浴場	
備考			